

警報発令時の基本的な対応について（お知らせ）

梅雨の候 保護者様にはご健勝のことと拝察いたします。平素より本校教育活動につきまして、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、標記のことについて下記のとおりお知らせしますので、確認の上ご理解とご協力をお願いします。

記

対応1 台風接近時における警報発令時

該当日の午前6時30分の段階で、鳥取北部地区に気象庁より各種警報が発令されている場合・・・該当地区の園・小・中学校は臨時休校とします。

※警報発令の確認方法

- <テレビ>NHK総合テレビ、午前6時53分からの「天気予報」
- <ラジオ>第一放送、午前7時15分からの「天気予報」
- 警報の種類：大雨警報・洪水警報・暴風警報
- 鳥取气象台、気象庁のホームページ ※こちらでも確認できます。

※ この場合、各家庭でテレビ、ラジオ等を通してご確認のうえ、児童は各家庭で過ごすようにしてください。（鳥取市立のすべての小中学校で、基本的には学校から各家庭に連絡はしないルールになっていますが、本校はまちcomiメールで連絡を流します。）

※ 休校日翌日以降については、警報が継続していても休校を継続しない場合もあります。この場合は必ず、各家庭に連絡をします。

対応2 台風接近時以外での警報発令時（大雨・洪水警報、大雪警報等の場合）または、荒天であるが警報が発令されていない時**中学校区で判断し、臨時休校等の措置をとる場合は以下の方法でお知らせします。**

- ※ 学校から各家庭に、①まちcomiメール、②ホームページ「<http://www.torikyo.ed.jp/miya-no-e/>」、③まちcomiメール登録のないご家庭への電話連絡、④文書配布、⑤CATV音声告知放送等によりお知らせします。
- ※ 登校時間変更、授業開始時刻変更、授業打ち切り、給食中止、下校時刻変更等の場合もありますので、ご留意ください。**特別な対応をする場合のみお知らせします。**
- ※ まちcomiメールを連絡方法の優先順位1番で運用しています。登録・受信確認についてよろしく願いいたします。 まだの方、または、機種変更等された方は、「<http://sc.machicomijp/miyan311/>」（携帯サイト）、または、QRコードよりご登録下さい。（パスワード 6827）

台風接近時の安全な過ごし方について、以下を指導しています。

- ・ 外出をせず、自宅など安全な場所で過ごすこと。
- ・ 避難情報などに注意して、保護者の方と一緒に行動する。
- ・ 台風が通り過ぎた後も、外出をせず、増水した川、山やがけのそばに近づかない。
- ・ 休校となった場合の自宅学習の仕方については、後日、各学年・学級より連絡いたします。

その他 地震発生時の安全確保について、裏面に示しておりますのでご覧ください。

＜地震発生時の安全確保について＞

- ① 地震が発生した場合は、周囲の状況に応じてあわてずに、まず自分の身の安全を確保する。
(特に、頭部の保護)
- ② 通学路で塀や崖沿い、橋などの倒壊が想定される場所等を通過する際には、十分留意する。
- ③ 道路の陥没場所や用水路、ため池、河川等の危険箇所近づかない。
(特に、新町、宮下、新宮下、奥谷、稲葉丘、美敷、広西方面)
- ④ 登校前、登下校時、帰宅後の避難の仕方について(下記参照)

地震の場合		
	震度 4 以下	震度 5 以上
登校前	保護者が安全を確認した後、登校	自宅待機し、連絡指示を待つ (まちcomiメール・ホームページ・電話連絡等)
登校途中	安全な場所へ避難する(通学路途中の地区避難場所 等) ※ものが「落ちてこない(瓦、落石)」「倒れてこない(ブロック塀、墓石)」「移動してこない(車両)」場所を選んで避難	
	揺れがおさまったら	
	自力で登校する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅待機 ・ 自宅の方が近いときは、自宅へもどる ※ 自宅に人がいない場合は、学校へ向かう ※ 移動することが危険な場合は安全な場所(公園等)にとどまる ・ 学校が近いときは登校し、その後、待機・引き渡しを行う
	教職員が、通学路の巡回や救護活動・安否確認を行う	
	(津波が想定される地域) 津波注意報・津波警報が発令されたら	
	① 近くの高台へ避難 ② 高台の避難場所へ ③ 近くの大人に助けを求める	
在校中	① 机の下や落下物を防げるものの下に避難する(頭を守る)	
	② 揺れがおさまったら、頭を守りながら校庭等に避難する ※校外行事開催中の場合---引率者が校長と連絡を取り判断する(取れない場合は引率責任者が判断する)	
	その後、異常がないときは	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集を行い、児童の待機・引き渡しか、職員付き添い町区別下校かを判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業打ち切り → まちcomiメール・ホームページ・電話連絡等で連絡し、待機・引き渡しを実施
	津波警報・大津波警報が発令されたら	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 揺れがおさまったら、至急高い所(津波を想定した避難場所)に避難 ・ 保護者への引き渡しは、津波警報が解除されるなど、安全が確認されてから 		
下校途中	安全な場所へ避難する(通学路途中の地区避難場所 等) ※ものが「落ちてこない(瓦、落石)」「倒れてこない(ブロック塀、墓石)」「移動してこない(車両)」場所を選んで避難	
	揺れがおさまったら	
	自力で下校する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家が近いときは、自力で帰宅する ・ 学校が近いときは、学校へもどる → その後、まちcomiメール・ホームページ・電話連絡等で連絡し、待機・引き渡しを実施
	教職員が、通学路の巡回や救護活動・安否確認を行う	
	(津波が想定される地域) 津波注意報・津波警報が発令されたら	
	① 近くの高台へ避難 ② 高台の避難場所へ ③ 近くの大人に助けを求める	